

高知県 安田町議会

(事績1) 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

1. 対面方式の質疑応答

安田町議会は、本会議において質問者と答弁者が対面の位置で議論する「対面方式」を長年行っている。質問者は「質問台」、答弁者は「答弁台」を設け、面と向かって質問や追及、提案や提言ができるため、執行部、議員それぞれが臨場感と緊張感をもって質問や議論をすることにより、活発な議論を行っている。

2. 議員提案による条例制定を積極的に実施

昨年度制定した「安田町議会の個人情報の保護に関する条例」では、検討会を立ち上げ、議員全員で議論を行い議員提案により提出したが、執行部の制定する「個人情報保護条例」等、関連する議案として本議会に一括上程し、提案説明は議員、執行部がそれぞれ行うなど、積極的な議会運営に努めた。

また、豊かな自然環境の安田町では、清流安田川の良質な地下水に恵まれ、古くから醸造業も盛んで造酒屋など住民に親しまれてきた。この貴重な歴史、文化を後世に伝えていくため、地酒による乾杯の習慣を広めるとともに、郷土愛をはぐくみ地場産業の振興、地域の活性化につながる施策の基本となるよう、令和元年に「安田町の地酒による乾杯を推進する条例」を制定。これにより住民有志による「安田町の地酒で乾杯を推進する会」が発足し、ありとあらゆる場で機会を得て「地酒で乾杯」を普及させ大きな成果につながっている。

3. 委員会室等の確保

昭和46年に建設された旧庁舎では、委員会室は議員控室と兼用であったが、新庁舎建設時に委員会室、十分な議会図書スペース等の確保ができた。また、令和2年7月より新庁舎に移転となったが、3階全域が議会専用のスペースとなり、本議会や委員会の協議、運営を効率的に行えるようになった。

4. 他町村議会との交流研修会等、連携活動

安田川の上流にある高知県馬路村議会と、下流域の安田町議会は以前より交流研修会を実施し、毎年、交互に双方の地域で合同で研修会を行っている。研修会のテーマは、道路整備、福祉介護、地域の活性化などの地域の実情に応じた幅広いテーマで実施し、議員の資質向上に向けた取り組みを行っている。

また、安芸郡町村議会議長会では、四国地域の道路整備について徳島県海部郡町村議会議長会とも連携し、隔年で高知県・徳島県のそれぞれの知事、県議会議長への要望活動の実施に加え、国の省庁、高知県、徳島県選出国會議員に対する中央要望活動も実施し、県域を超えて他町村議会との連携を図っている。

(事績 2) 住民に開かれた議会

1. 議会だよりの単独発行

議会だよりは町の広報紙と一緒に発行していたが、より詳細な議会報告と活動を発信するため、令和元年より14年ぶりの単独発行を復活させた。議会広報編集委員会では、事務局任せではなく編集委員自ら積極的に記事をつくり、よりわかりやすい読みやすい編集を目指し紙面づくりに取り組んでいる。

表紙の写真などは園小中の協力を得て学校行事などの写真を採用し、幅広い年代に興味を持ってもらい、親しみが感じられる議会広報となっている。

また、年4回の発行をしているが、全戸配布とあわせホームページを活用し情報発信している。

2. 議会傍聴のバリアフリー化

昭和46年に建設された旧庁舎から、令和2年7月より新庁舎に移設された議場では、傍聴スペースは段差のない完全バリアフリーとなり、傍聴席は可動式で車椅子スペースも確保している。このほか、新庁舎では、議場は3階となったが車椅子対応のエレベーターほか、誰でも使える多目的トイレはもちろん、1階にはオスメイト対応トイレも完備し、誰もが安心して傍聴できる環境を整えている。

(事績 3) 地方議会・地域活性化のために特別な取組みをした議会

1. 女性や若者の議会参画推進

女性や若者、多様な住民の議会への参画を推進するため、令和2年7月より新しくなった庁舎には授乳室の設置など環境整備に努めた。また、女性議員の参画推進ため、女性議員専用の更衣室を整備した。